



北欧体験プログラム



～デンマーク&フィンランドの教育・環境対策を学ぶ～

2025年3月22日(土)～3月28日(金)7日間

SDGs達成度の高い北欧で、どんな教育が行われているのか、見て聞いて体験してみませんか？
幼稚園や学校訪問、環境施設見学など、見どころ盛りだくさんのプログラムとなっています。
皆様のご参加をお待ちしております！



★プログラムのポイント★

- ・幼稚園、学校訪問
- ・映画で話題の『コペンヒル』の見学
- ・環境関連施設の見学
- ・充実の市内観光



←説明動画は
こちらから
ご覧いただけます

〈写真はイメージです〉

主催：株式会社ATI

★デンマーク 首都：コペンハーゲン

コペンハーゲンは、歴史的な建物、美しい運河、豊かな文化が魅力です。「北欧のパリ」とも呼ばれ、歴史的建造物と近代的な建築が調和した、美しい街並みを見ることができます。また、自転車が多くの環境に優しい都市としても知られています。

★フィンランド 首都：ヘルシンキ

ヘルシンキは、バルト海に面した美しい港町です。歴史的建造物やデザイン、サウナ文化が魅力で、緑豊かな自然と都市の街並みの調和のある街です。環境問題に積極的に取り組む都市として知られています。

森のようちえん

コペンハーゲンにある、Krudthusetは、2歳～小学校に入学するまでの子供が通う幼稚園です。自然の中でのびのびと成長できる環境を提供する、自然との共生を大切にした教育を行っていて、環境に配慮したリサイクルやエコ活動も取り入れています。



学校訪問

デンマークの公立小学校と、フィンランドの公立中学校を訪問します。ここでは、授業見学や小学校5～6年生との交流を予定しています。日本の学校との違いを体感できます。

環境関連施設

廃棄物処理とエンターテインメントを融合させた、革新的な施設として映画にもなった『コペンヒル』の見学や、再生可能エネルギーを利用する、ヴァンターエネルギーの見学など、様々な施設で環境問題対策を学ぶことができます。



市内観光

コペンハーゲンでは、リトル・マーメイドのモチーフとなった人魚姫の像や宮殿を見学します。ヘルシンキでは、テンペリアウキオ教会や大聖堂を訪れます。どちらの街でも美しい街並みを見ることができます。

〈写真はイメージです〉

予定日程表

日次	月日(曜)	都市名	発着	交通機関	現地時間	日程 [食事/宿泊地]
1	2025年 3月 22日(土)	羽田	発	AY-062	21:55	羽田空港にて集合 手荷物検査・出国審査 航空機にて空路、ヘルシンキへ 【時差:-7時間、所要時間:約12時間50分】 [機機 / 機中泊]
2	23日(日)	ヘルシンキ ヘルシンキ コペンハーゲン	着 発着 着	AY-951 専用車	04:00 07:10 07:55 午後	着後、入国審査、乗り継ぎ 【時差:-1時間、所要時間:約1時間40分】 コペンハーゲン市内研修(アマリエンボー宮殿、人魚姫像など) [BxD / コペンハーゲンホテル]
3	24日(月)			専用車	朝 終日	ホテルにて朝食 森のようちえんの見学 コペンハーゲンの小学校 見学・交流 リサイクルに取り組む組織の見学 [BxD / コペンハーゲンホテル]
4	25日(火)	コペンハーゲン ヘルシンキ	発着	専用車 AY-956 専用車	朝 午前 午後 16:55 19:35	ホテルにて朝食 エネルギー関連施設アマーバッケ(コペンヒル)の見学 専用車にて空港へ 航空機にてヘルシンキへ 【時差:+1時間、所要時間:約1時間40分】 専用車にてホテルへ移動 [BxD/ヘルシンキホテル]
5	26日(水)			公共交通	朝 午前 午後	ホテルにて朝食 ヘルシンキの中学校の見学・交流 科学センター ハウレカ、技術博物館の見学 ヘルシンキの市内見学(大聖堂、テンペリアウキオ教会) [BXX / ヘルシンキホテル]
6	27日(木)	ヘルシンキ	発	専用車 AY-061	朝 午前 午後 17:55	ホテルにて朝食 ヴァンターエネルギーの見学 専用車にて空港へ移動 航空機にて、東京へ 【時差:+7時間、所要時間:約13時間20分】 [B×機/機内泊]
7	28日(金)	羽田	着		14:25	着後、入国審査・税関審査

※食事表記について：B…朝食、L…昼食、D…夕食、機…機内食、×…手配なし

※スケジュールは、受け入れ先の都合により変更になる場合がございます。

※利用予定ホテル：コペンハーゲン Comfort Vesterbro、ヘルシンキ Sokos Presidentti

実施要項

< 2024年11月 >

1. 旅行期間: 2025年3月22日(土)~3月28日(金) 7日間
2. 日 程: 予定日程表をご参照下さい
3. 募集人数: 14名 (最少催行人数 12名)
4. 対 象: 中学3年生~高校3年生
5. 旅行代金: 548,000円 (人数・為替等で変動する可能性があります)

※上記旅行代金に含まれるもの

- ①フィンエアー(エコノミークラス利用)往復航空運賃
- ②旅行日程に明示したプログラム及び研修、観光にかかる費用
- ③日程に明示した食費
- ④手荷物運搬料金(スーツケース)
(重量:23kgまで
縦・横・高さの合計:158cm以内のもの1個)
- ⑤宿泊費用
ホテル4泊/2名1室
(参加人数により3名1室の可能性あり)

※上記旅行代金に含まれないもの(別途かかるもの)

- ①燃油特別付加運賃(2024年11月現在:約80,860円)
- ②羽田空港施設使用料・海外空港諸税・国際観光旅客税
(2024年11月現在:約18,700円)
- ③海外旅行保険料
- ④日程に明示した以外の食費
(3/23・24・25・26・27日の昼食、26日の夕食)
- ⑤個人的な費用(電話代、通信費、郵便・切手代、ランドリー代、心付け・チップ、土産代など)
- ⑥超過手荷物料金:1人あたり23kgを超過する場合
- ⑦渡航手続き手数料 5,500円
- ⑧1人部屋追加代金 64,000円

6. 参加申し込み方法・募集締め切り: 参加希望者は、以下QRコードよりお申込みください。

募集締め切り: 2024年12月15日(日)

申込フォーム⇒



7. 申込受付: 弊社にて申込フォームを受領しましたら、メールにてご連絡を致します。航空座席、滞在先等に空きがあっても手配の都合上、申込を受付けた時点で一度お預かりさせて頂き、その後の回答となる場合がございます。定員を超える場合は、ご希望に添えない場合がございます。予めご了承ください。
8. 申込金について: 上記、申込受付確認のご連絡後、申込金 50,000円(旅行代金の内金)を、下記お振込先までご入金ください。 申込書と申込金の両方を確認した時点で旅行契約成立となります。申込金は旅行代金の一部となり、残金はお出発の30日前までにお振り込み頂きます。

お振込先: 三井住友銀行 ひなぎく支店 当座 カ)エイティーアイ 口座番号: 2854071

- * 振込人氏名は、ご参加生徒名でお願いいたします。
- * 振込手数料はお客様のご負担にてお願いいたします。
- * **銀行振込み控えを領収書とさせていただきます。期日までにお振込みが確認できない場合にのみ、弊社よりご連絡を致します。領収書が必要な方は、担当者までご連絡ください。**

9. 書類送付: 催行決定後、旅行業約款(募集型企画旅行契約)、医療同意書/健康状況調査書、海外旅行保険、残金お振込みのご案内等の書類をお送りいたします。書類にご記入後、弊社にご返送頂きます。
10. 取消について: 旅行契約成立後、お客様の都合で契約を解除される場合は、速やかに弊社担当者まで直接お電話にてご連絡ください。 契約解除の日により、取消料がかかりますので、下記取消料についてご確認ください。

2月21日(金)以降3月19日(水)までの取消.....旅行代金の20%
3月20日(木)以降3月22日(土)までの取消.....旅行代金の50%
旅行開始後に取り消した場合又は、無連絡不参加.....旅行代金の100%

11. 免責: 当社は、参加者が次に例示するような事由により被られた損害または旅行日程の変更もしくは旅行の中止については責任を負いません。ただし、当社または当社の手配代行者の故意または過失が証明されたときはこの限りではありません。

天災地変、戦乱、暴動、運送・宿泊機関の事故もしくは火災、日本または外国官公署の命令、外国の出入国規制、伝染病による隔離、食中毒、盗難、運送機関の遅延・不通・スケジュール変更

この旅行実施につきましては、下記担当旅行会社の旅行条件書ならびに旅行業約款(募集型企画旅行)に基づいて行われます。お客様の状況によっては、当初の手配内容に含まれていない特別な配慮・措置が必要となる可能性のある方(例:心身に障害のある方、生死に関わる持病や障害をお持ちの方等)はご相談させていただきますので、お申し出ください。



企画・実施:株式会社ATI

観光庁長官登録旅行業第141号・一般社団法人日本旅行業協会(JATA)正会員・国際航空運送協会(IATA)公認

新しい消費者保護制度 JATA ボンド保証協会に加入

本社 / 〒101-0032 東京都千代田区岩本町2-4-1 神田岩本町プラザビル8階

電話: 03(5829)6396 FAX: 03(5829)6397

ホームページ: <http://www.ati-jp.com> メールアドレス: yamamoto@ati-jp.com

総合旅行業務取扱管理者: 上杉 真 担当: 山本・佐藤

